



ROKUHAの自然.COM

# ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 [www.facebook.com/rokuhafamily](http://www.facebook.com/rokuhafamily) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

## 春をさがそう

今度こそいっきよに春といった感じの陽気。天気ニュースは4月の陽気だと伝えました。今季初のチョウに出会えるかと一番気温の上がる時間に入りました。



オオイヌノフグリ



南向きの斜面はオオイヌノフグリが満開です。陰ると閉じてしまいます。閉じてしまうと書きましたが実際に閉じるかは試していません。この斜面も午前中はここまで開きません。曇天ではどこ?という感じです。フラサハソウもしっかりと日が当たらないと開きません。先日午前中見ていた時は、まだだと思っていた。フラサハソウはツタバイヌノフグリの別名がありよく似ています。単独で見かけるとオオイヌノフグリと誤ってしまいます。葉っぱの毛が目立ちます



フラサハソウ



ヒメオドリコソウ



花の形が踊り子のようなことからついている名前。小さいのですぐには理解できませんが、花をよく観察すると「なるほど」とにんまりします。手を合わせて首頭を取っているように思えます。時々、真っ白い花のタイプに出会います。



ホトケノザ



オドリコソウと同じ科目で同じ形状の花が見えます。こちらのほうが色が濃い。花の数が多そうに見えます。茎を軸にして花をつけるのですが葉っぱに包まれた感じです。仏の座の雰囲気です。春の七草のホトケノザはこの種ではありません。



上 クモ

何匹も出会いました。肉食ですからちがう生き物が動いているのでしょう。巣を持たないハシリグモの仲間、

右 ハエ・アブの仲間

蝶に出会うつもりで意気込んでいたのですが皆無でした。出会ったのは右の3種。一番上はハエの仲間、真ん中はヒラタアブの仲間、下はハナアブが同定できる情報がありませんでした。

左 ツクシ スギナの胞子茎

「ツクシ誰の子スギナの子」という言葉がありますが、育ってスギナになるということはないです。スギナの花ぐらいに考えるとすっきりします。ツクシから出た胞子は新しいスギナの株になります





# ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 [www.facebook.com/rokuhafamily](http://www.facebook.com/rokuhafamily) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

## もどり寒波

鉄道や道路の災害にもつながった、かなりの大雪も体験したし、立春もすぎ、もう雪景色はないと思っていました。この日は思ったよりたくさんの降雪でちょっとびっくりです



スポーツ広場からロクハ池を望む



公園に入る前に、スポーツ広場側からロクハ池を観察することを続けています。飛来している水鳥の様子とオシドリの確認です。いつもの水面ではないです。静かな感じです。対岸近くにいるオシドリを今日は雪が隠していました。



南ゲートから入った景色



中央花壇からメタセコイアの並木を

モミジバフウ



樹木の枝にはそれなりの雪が乗っていますが、アスファルト部分は一切雪がなかったです。立春を過ぎた日差しが地面を温めているのでしょうか。はっばや木の実は雪を解かさないように大事にしていました

アブラナ



モクレン



カワセミ



カイツブリ



ツグミ



キジバト



シロハラ



ROKUHANO.COM

# ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 [www.facebook.com/rokuhafamily](http://www.facebook.com/rokuhafamily) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

## オシドリ特集

今季、圧倒的に多くの時間を使って観察しています。2018年以来の出会いで、またとないチャンスを大切にしました。



11/20



カモの仲間で、全国にでみられ。森や林に囲まれた池や川、木陰の水面を好むようです。西日本では冬季によく見られることが多く秋の終わりに移動してくることが多いようです。今までロクハ池は詳しく見てこなかったのですが、とてもいい環境かもしれません。公園のロクハ池側の林は立ち入る入ることができないので人目を避ける絶好の場です。写真のようにオスの羽根はとてもカラフルで、いたらずぐに気づくでしょう。この色は秋から冬の、婚姻色で非繁殖期はメスと変わらない地味な色になります。右上の2羽は、どちらもオスです。一羽はこの時点では婚姻色になり切っていないと言えます。つがいを作りながら群れになってすごします。夜行性で夜に森や林に入り食事をとるようです。日があがると、水面にのびる木々の陰で休むことが多いです。タイミングが悪いと出会えないわけです。非繁殖期でオスがメスみたいになつたらいっそ大変です。

さがす力が増したせいか、ほぼ毎日見られるようになりました。はじめは水面で見られないかと思いましたが、最近木々の中からも見つけられるようになりました。

今季オシドリはロクハ公園に入り、ペアですごしていたと言えます。ということは夜、森や茂みの中で食事をしているのでしょうか。朝方、林の中から下りてくるところにも出会っています。



2/11浮島のブッシュに潜む

## 2/11事件が起こりました

事務所前の川原池の浮島のオシドリを見つけました。こんな人目のつく場所に単体でオシドリがいるということ自身大事件です。こんな近くで見られることを喜びましたが不安もありました。観察仲間にその場を託し離れました。LINEで送られてきた写真(右)を見て衝撃を受けました。この状態では飛ばません。人目に付かないところで落ち着かせたかったですが、浮き島へはいけません。見守るしかなかったです



2/11視線を感じ移動する・傷の様子がわかる



2/12早朝・翼が水面まで垂れさがる



2/13PM4時ごろ・壁に寄り掛かる

2/14早朝、息途絶えているのを、観察仲間が見つけてくれました。その後、職員さんに連絡し丁寧に処理していただいたようです。今は鳥インフルエンザの対応のため野鳥の死骸は関係機関に持ち込まれるようです。

川原池の周辺にアラカシの実がたくさん落ちています。一生懸命食べている時、キツネに捕まったのでしょうか。何とかふりほどき池に逃げ込んだと想像します。傷さえ癒えたら飛べなくても池で過ごせる、と甘い期待を持ちましたが・・・

公園内で人知れず行われている命のやり取りの一つでもあります。



11/22もうペアが成立しているのか？婚活中か？



11/16お尻付近にある羽根は一枚のもの・イチョウ羽と呼ばれる



# ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 [www.facebook.com/rokuhafamily](http://www.facebook.com/rokuhafamily) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

立春を過ぎ、三寒四温の流れに 10年に一度の寒波の峠も越しこれからは確実に暖かくなっていく時期です。大量の雪は琵琶湖の深呼吸全層循環を促してくれるでしょう。

3/5ロクハツアー・冬の虫さがし



2/7



啓蟄はまだ遠い

ロクハツアーの日は防寒着を脱ぐぐらいの暖かさになりこの日も日差しが暖かだったので積極的に虫を獲りました。動いているのはハエ/アブの仲間だけしか出会えませんでした。虫が動き出す啓蟄(3/6)はもう少し先。三寒四温を楽しみながら待ちます。

2/7



ショウヒタキ



2/6 ルリビタキ



コゲラ ここにいるはずだと木をほじくって虫をさがします



鳥は命を懸けて虫をさがす一生懸命探すがなかなか見つけにくい時期です。でも鳥たちはさすがです。最近とみに地面に降りて食べ物をさがします。落ちている実を食べないためです。それ以上に虫さがしに夢中です。虫が動き出したことあるのでしょう。ショウヒタキはこの時、ミズズミとムカデ2匹を見つけ食べました。



オオイヌノフグリ 花がいっぱい



# ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 [www.facebook.com/rokuhafamily](http://www.facebook.com/rokuhafamily) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

## 雪のロクハの記録

週刊ロクハの自然に雪景色が何にも残らないのはおしいので今回はこの1週間を振り返ります。facebookにあげたものも含めて。



1/25の朝



## 重なる積雪

1/25・28両日とも雪の量では、2017/01/15の記録以来です。25日は低温の寒波で雪室はさらさらで28日は湿り気が多く、重い雪でした。25日降水量は8mm28日は11mmは納得です。2回目の積雪では、木々の枝が垂れた景色が多く見られ、枝が折れたり、倒木もありました



1/28の朝



ペニマシコ



アトリ



ツグミ

## 雪が食べ物を隠してしまう

鳥を観察する時、一番出会うのは食事をしている時です。普段ならこの場所では何をというのわかって、観察しますが。こんな雪がオオてしまう日は、戸惑う、巧みな、必死な鳥たちに出会いました。



シロハラ



キシバト



ルリビタキ



# ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 [www.facebook.com/rokuhafamily](http://www.facebook.com/rokuhafamily) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

**大寒波の前に** 今回の寒波は10年に一度というすごいもの。草津でもかなりの降雪らしい。これを記している間も、吹雪ながらあたりが白くなっていく。様子が一変するだろう。



**シロハラR (部分白化個体)**



**アオジ**



**ヤマバト**

今年は平和の鐘付近でよく見かけます。この日もその下のハマヒサカキの垣根で何か考え事です。本宅は、プール近くのクスノキの下、ドウダンツツジの垣根です。

ここは散歩者がかなり通過する場所で作業車も走っていきます。アオジの写真は1mぐらいの近くで撮影。食べることに必死でした。ハトもたくさんおりてよくついばんでいます。アラカシの実が落ちてよくグラインドされているようです。



**ヒゲナガサシガメ**



**ウロコアシナガモ**

冬の虫探しシリーズ とにかく葉っぱの裏に夢中。けっこういるもんだと思います。これに出会い感激でした。お初ですからドキドキです。頭から伸びる触角はナナフシにそっくりですが。胸部が短そうです。翅があるのがわかります。その大きさから幼虫です。でナナフシに似た虫で検索し始めました。

冬の虫探しシリーズ 足の長い小さな雲です。よく見かけます、といっても、葉っぱをひっくり返して見ている今だから出会うのかもしれない。一緒に写るハエが気になります。左のヒゲナガサシガメのところにも写っています。何者でしょう



**冬の虫探しシリーズ**

左 今日はずい！次から次へと初めての出会い。この正体もわくわくしました。口の形からサシガメっぽいかなと思いながらよくよく見ると抜け殻でした。

右 こちらは必ずいてくれる。しかもこの寒い時期も活動しているようです。写真を撮るのに葉っぱを裏返すと日陰部分に動きます。周りに水気のあるものがたくさんあります。おそらく、この虫の糞でしょう。活動している証拠です



**トサカゲンバイムシ**



**クチナシの実**

昨年もこの株でクチナシの実を確認しました。この時期、この色はうれしいですね。



**バニマシコ**

毎日、セイタカアワダチソウ、ススキ、イタドリなどとても小さな実を食べている鳥たち、雪が積もると、食料が埋もれて大変です。こんなに降るのかと心配しているでしょう。



**アオジ**



ROKHANA.COM

# ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 [www.facebook.com/rokuhafamily](http://www.facebook.com/rokuhafamily) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

## ロクハ池に日参

再度のオシドリ情報でスポーツ広場からロクハ池を見る機会が増えました。その間、水鳥に出会えたので、並べてみます。人から距離がとれるのでのんびりしている様子です。



オシドリ

11月下旬、関心を集めていたオシドリは2週目で見られなくなりました。1/9の目撃場をもらい確認しに行くといました。2つがいでした。4日間確認しましたが、この日は見つけれませんでした。



アオサギ

アオサギ冬季の頭の伸びた羽が風に吹かれて角のように見えます。事務所前の川原池でもよく見られますが、ここではどこかに必ずいます。カワウはたくさんいます。それだけ食べ物が豊富だといえます。一斉に飛ぶときがあり頭数が多いと圧巻です。水面での助走と飛行が安定するまでの羽ばたきは大変そうです。カワウに限らず水鳥は結構騒がしく飛び立ちます。



カワウ



ミコアイサ

真っ白になった冬季の様子は一目瞭然、遠く確認できます。この日は目立つオスを7羽確認しました。全然メスが見当たらないのが不思議でした。かなり離れていてもカメラを向けると離れていきます。



カルガモ

1年じゅう見られます。池周辺で巣作りしてくれたら、ヒナの行進が見られるはずですよ。



ヒドリガモ

なぜか一羽だけこしばらく見られます。



マガモ

オオバン

キンクロハジロ

見る時間帯によって鳥たちの様子は一変します。種類ごとに団体行動をとり、他の場所へ一斉に飛び立ち食事に出かけるようです。あれだけいたのにどうしたのかと思うことがよくあります。ロクハ池は、この周辺ではかなり大きな池で人目を気にする鳥たちの気が休まる所です。でも、首を巻き込んで寝ているなど思いカメラを向けるとそのままの姿勢で離れていくぐらい警戒はしています。

ロクハ池は市の水道水の非常水源として厳重に管理されています。人の介入度が少ない場所として魅力ある観察場所です。

滋賀県の鳥カイツブリ、琵琶湖は鴉の湖と、呼ばれるぐらいカイツブリが多く見られたのでしょう。



カイツブリ



ホシハジロ

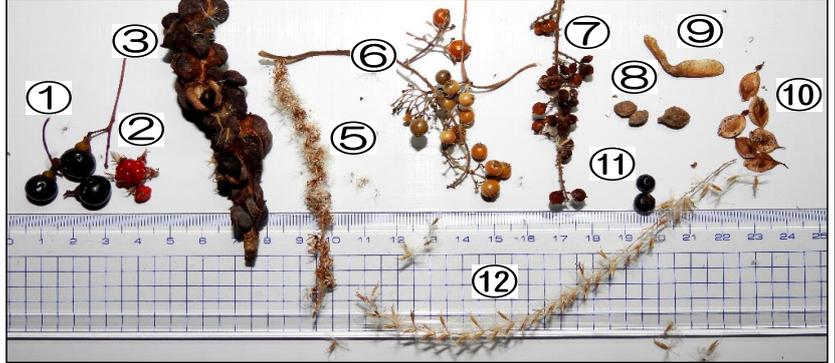


# ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 [www.facebook.com/rokuhafamily](http://www.facebook.com/rokuhafamily) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

## 食べ物いろいろあります

たくさんの鳥がロクハ公園で食事をしています。通っているものもありますが冬を目指してやってきた鳥はロクハ公園の実りを頼りにしています。今日は、今よく食べられているチェックしてみました。



②フコイチゴ みんな大好きフルーツ感覚か

一部採取した実 大きさがわかるように並べました。



⑩アキニレ  
アトリ・カワラヒワ・など

⑪ハマヒサカキ  
ヒヨドリ・シロハラなど

①クスノキ シロハラ・ツグミ・  
ヒヨドリ・カラス・ハトなど

⑥ヘクソカズラ  
ヒヨドリ・メジロなど



イノコズチ



⑫ススキ



イタドリ



⑤セイタカアワダチソウ

とっても小さな実  
アオジ・ベニマシコ・ホオジロなどの小鳥



ネズミモチ



クロガネモチ



ヤマハゼ



⑦ヌルテ

一番人気の実、シロハラ・ヒヨドリ・ツグミ・カラスなど丸呑み一斉に熟するのでヒヨドリが食べ始めると一斉にたかってきて食べつくします。

一番人気の実、シロハラ・ヒヨドリ・ツグミ・ルリビタキ・ジョウビタキ・メジロ・シジュウカラ・ヤマガラ・エナガなど、丸呑みから皮だけをかじっていくなど食べ方もいろいろ



⑨モミジ  
イカル・シメ・ヤマバトなど



⑧ヤマモモ

ヤマモモの実が腐り種だけが梅干しの種のように残りそれをシメは割って食べる



モミジバフウ



マツ

種がいっぱい詰まっている。その種を引っこ抜いて食べる  
落ちたのを食べる ヤマガラ・カワラヒワ・アトリなど

ずっと同じものを食べているのでなく、一日の間に森を駆け巡り、色々食べます。冬の間も昆虫やクモ等、小さな虫やミズなどたんぱくは大事な食です。おやつやフルーツみたいな食べ方もあります。ジュースやみたいなものもあります。



# ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 [www.facebook.com/rokuhafamily](http://www.facebook.com/rokuhafamily) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>



## ロクハ見守り2023はじめ

年末年始という区切りをつけて私たちは動きませんが、公園内の生きものは普段と変わらず、ただ私たちの気分が変わったことで様子が新たになった気がします、



比良山頂を望む



南ゲートから入場、このあたりを縄張りしている三ツ星のジョウビタキRの出迎えます



今、この周辺が熱い。連日野鳥観察をする方々からの情報が入ってくる。この日は5組に合う。年明け。年明け早々にミソサザイの記録情報が入りすぐにでも行きたい気分でした。



12/28撮影

Lineグループにソウシチョウの情報が。かなりの確率で目撃されます



## 今日も、カワセミ在宅

カワセミがこしばらく安定して見られます。狩りをしていないときは決まった場所にとまって休んでいます。左写真のように茂みの中に隠れるようにしています。目が慣れると一目でいるかいないか確認できます。お腹のオレンジがいい目印です。今日観察していると2羽いたのがわかりました。ずっと見られていたのはメスでしたが、今日記録に残ったのはオスのようでした。(隣の写真)



キセキレイ



セグロセキレイ



コサギ



マガモ♀

オカヨシガモ

事務所前の川原池にはアヒルが飼育されています。そのエサをあてにして、この時期マガモが滞在することが多かったのですが、今季は一羽も来ないと心配してました。この日はやっと来たと同時に珍しいオカヨシガモも入ってました。いつまでいるか注目です



オオイヌノフグリ

写真上は早春の野草オオイヌノフグリ、日当たりがよい場所ならより早く見られますが、ちょっと早すぎるのではと思います。写真下はコナラの枯葉の様子。コナラは紅葉して完全に落葉しますが、今年は落ちない気が多いです。どちらもちょっと心配



コナラの枯葉

羅漢池が干上がった。鳥の巣。浅い池にはアヒルが飼育されています。



ROKUHANO.COM

# ロクハの自然

facebook「ロクハ見守り」 [www.facebook.com/rokuhafamily](http://www.facebook.com/rokuhafamily) ロクハ公園HP [www.park-698.net/](http://www.park-698.net/) ロクハ公園HPいきもの図鑑 <http://www.park-698.net/zukan/>

## ソウシチョウ検索 続編

特定外来種の多くは人の行為に起因するものです。地球温暖化のように長いスパンでじわじわと来ているものもあります。本来ならここにいなかった種が、必死で命をつないで生き残った。結果でもあるわけです。公園のソウシチョウ、この一週間で四回出会いました。定住しているようです。



別の竹やぶ

## 竹の花

全く気付かなかったのですが、「タケが花をつけてるよ」と教えてもらいました。ちょっと不思議な響きです。竹藪全体が少し枯葉が多いなというふんいきです。枝の先に穂があり、お米の花のようにオシベの房が出ています。ささの花がさくと不吉ということはよく聞かれます。調べると竹は120年に一度花をつけるのか。この藪は120年前からあるのでしょうか。別の藪は全く違い、雰囲気は違いました。藪が枯れるとか！注目すべきイベントです。



ベニマシコ♂♀

メスを見ているとスズメかと思いますが顔は少し違います。このオスの色は特徴的で、野鳥の中では珍しい紅です。マシコは猿。成熟したオスの特徴が名前になっています



ホオジロ♀♂

## 草が生い茂った空間

この一角はもともと湿地で徐々に草木が繁茂してきたようです。イタドリが繁茂しています。ススキやセイタカアワダチソウ、ハゼノキもあります。小鳥が大好きな場所です。毎年注目して見ていて、この日ぞろぞろと観察できたのでうれしかったです。少し前にホオジロが種を食べているので期待していました。来園者との距離がとれるので、安心して食べているようです。こんな小さなものを食べるのかと思います。夜露が残っている時は食べにくそうです。種のかすがくちばしによくつきます。草木の枝でくすりきれいにしています。